

飲酒運転撲滅宣言企業 名古屋ハイウェイ 株式会社



○ 名古屋ハイウェイ 株式会社 様の紹介

名古屋ハイウェイ株式会社は昭和53年設立以来、お客様第一主義を社是とし、目的達成のため、研修・福利事業・各種マニュアルの充実に努めて参りました。

また、いち早くコンプライアンスの重要性に着目し、中でも「飲酒運転撲滅運動」を積極的に進めております。また、自然豊かな地域経済社会の発展に寄与すべく、近年社会問題視されている自然保護活動にも自主的かつ積極的に取り組んでおります。

「全社員心を一つにし、あらゆる企業活動を通じて住みよい地球と豊かな地域社会づくりに取り組む、自然に優しい企業を目指します。

企業HP <https://www.n-highway.com>



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ◆ 飲酒運転撲滅計画を策定し、社員に対する研修等を実施しています。
 - ・毎年度の飲酒運転撲滅推進計画を策定し、同計画に基づき、「抜き打ちアルコールチェック」「飲酒事案防止研修の実施」「飲酒抑制活動」「地域の飲酒運転撲滅運動への参加」を実行しています。
- ◆ 組織的な飲酒運転撲滅の管理体制を実施しています。
 - ・就業規則において飲酒運転及び酒気帯び運転は「服務規程違反」となり厳重処罰となることを明確に規定しています。
 - ・年度始めの朝礼において、飲酒運転は即刻「懲戒解雇処分」に処する旨を通達しています。
- ◆ 従業員等への広報啓発活動を行っています。
 - ・毎月1日、朝礼時において「飲酒運転は絶対しない・させない・許さない・そして見逃さないの誓い」の唱和を行い、研修での飲酒運転撲滅の呼びかけを続けています。
 - ・平成26年より毎年2回（8月・12月）、代表者名で全従業員と家族あてに飲酒運転撲滅への協力をお願いする手紙を送付しています。
 - ・全従業員に、自家用車（家族所有も含む）に貼る「飲酒運転撲滅」ステッカーを配付しています。
 - ・NPO法人はあとスペース発刊の飲酒運転撲滅マガジンである「TOMO s」及び飲酒運転撲滅啓発チラシを回覧しています。
- ◆ 従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組を実施しています。
 - ・入社時、全員に飲酒運転は絶対しない旨の誓約書を提出させています。
 - ・全員にアルコールチェッカーを配り、家族の協力のもと、「出勤前のアルコールチェック」を実施しています。
 - ・飲酒運転を防止するため、翌日の勤務予定者全員に電話し、飲酒の状況を確認しています。
- ◆ 従業員等への社内研修を実施しています。
 - ・外部講師を招き、飲酒運転の危険性やアルコールが体に及ぼす影響等について研修及びカウンセリングを実施しています。
- ◆ その他の取組
 - ・子どもを巻き込む飲酒運転事故を起こした女性の後悔を表した、飲酒運転撲滅CM「もし時間をもどせるなら」を制作し、2017年7月～2018年1月に放映しました。
 - ・海の中道大橋事故を振り返りつつ、その後の官民一体となった飲酒運転撲滅活動を紹介することで、飲酒運転撲滅を呼びかける特別番組を制作し、平成30年8月25日に放映しました。
 - ・毎年開催されている飲酒運転撲滅を誓うライブ（SDD）にスポンサー提供しています。



外部講師による研修の開催



街頭キャンペーンへの参加

○ 名古屋ハイウェイ 株式会社 様にインタビューに答えていただきました！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 平成25年、弊社で発生したアルコールでの不祥事は社会からの信頼を失墜させてしまいました。平成18年の海の中道大橋での飲酒運転で引き起こされた事故を知る県民として、また道路交通に携わるプロとしてあってはならない事でした。

当時、企業として従業員と共に心から猛省して、一からコンプライアンスを構築しなければならぬと、社長自らが率先し実行する。それからのスタートでした。

はあとスペースの山本さんと一緒に毎回街頭キャンペーンに必ず参加しました。

外部講師を招いてのコンプライアンスの構築、福岡県警のご協力を頂きながら飲酒運転の悲惨な実情、はあとスペース山本さんからの心からの訴え等研修を重ねて参りました。

まさに全社員一丸となって継続と創意工夫を重ねて本日まで来ております。

「飲酒運転0」を目標に、その日が来るまでこの運動は継続して参ります。



飲酒運転撲滅のCMを作成

特別番組 飲酒運転0(ZERO)をめざして

海の中道大橋飲酒運転事故から12年
この悲惨な事故を絶対に
風化させてはいけない

放送日時：2018年8月25日 11:00~11:30

TVQ九州放送

番組提供：名古屋ハイウェイ

飲酒運転撲滅の特別番組を作成

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 様々な研修を重ねた結果、従業員が道路交通に携わる者の責任を自覚し、飲酒運転撲滅に対する正しい理解が深まっています。飲酒習慣のある者にはカウンセリング等により指導することで、飲酒量の軽減や禁酒禁煙につながったという者も出てきました。

また、従業員の職場環境に対する意識の向上や健康志向が見られ、最近では、何事にも自主的に取り組むように変化してきました。

地域活動においても、企業市民であることを自覚し、積極的に飲酒運転撲滅運動や清掃活動への参加にも繋がってきています。

Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 「飲酒運転撲滅運動」を形骸化させない、撲滅運動の継続や運動自体のマンネリ化を防ぐ更なる意識改革を取り組みます。「飲酒運転0」が当たり前になる正しい社会、安心安全の「0」が当たり前になる「社会環境」の構築に努力をして参ります。

今後は我々の次の世代に美しい地球環境を引き継ぐために、「飲酒運転0」はもちろん「省資源・省エネを推進し、省エネによるコスト削減や職場環境の改善による地球にやさしい活動」を展開していきます。